

# 宮崎大学工学部 同窓会だより



同窓会役員・理事・事務局のメンバー

## Contents

会長あいさつ	1p
工学部学部長のごあいさつ	2p
各プログラムの定年退職、昇任、新任教員紹介	3-12p
2025年度の主な活動	13p
教育・福利厚生・就職への支援活動	13-18p
企業様からの同窓会への寄付寄贈について	19p
TOEIC試験の支援に関して	19p
各地区工学部会	20-26p
各地区工学部会からのメッセージ	27-30p
2025年度 宮崎大学工学部同窓会 役員名簿	31p
2025年度 プログラム幹事の紹介	32p
2024年度の会計報告	33p
2025年度予算・2026年度の主な活動予定	34p

## 宮崎に就職を希望する皆さん!



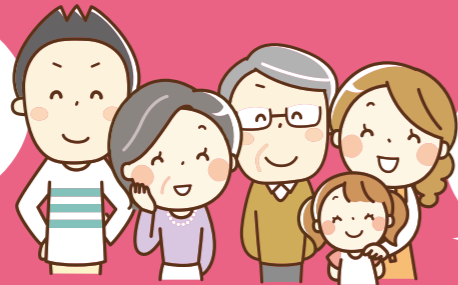
やっぱり地元が一番やわ!



県内企業でも  
県外や海外で  
働けるところは  
結構あるね

## 宮崎に転職を希望する皆さん!

一度は県外に  
出たけど  
宮崎がいいね



家族を持つと  
生活環境も考えて  
決めなきゃね

工学部同窓会では、各種在校生の支援に加え…

- 1.工学部のOB/OGが活躍する企業の情報を広く提供
- 2.卒業後の各種同窓会の連絡

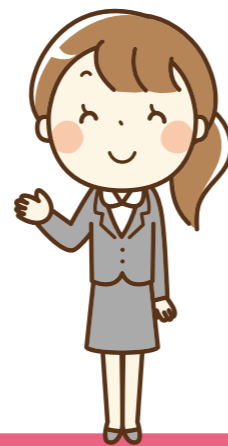
ホームページ



Instagram



Facebook



を積極的に実施しています。



住所 〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地  
 TEL・FAX 0985-58-7862  
 Eメール eng-doso@miyazaki-u.ac.jp  
 担当 うす ざき ちよう き  
 臼崎・帖佐

発行日 2026年3月16日  
 発行 宮崎大学工学部同窓会

## 会長あいさつ

宮崎大学工学部同窓会長 井上 康雄  
(機械工学科 S45年卒)



2025年の活動については、宮崎大学に於ける各種イベント及び全国各地の同窓会(関東・中部・関西・北部九州・宮崎)開催が盛大に行われ、新規に参加された卒業生も先輩諸氏と大いに語り合い、本当に和やかな工学部同窓会になりました。

中国・四国地域の卒業生に関しては、現状では機械・電気電子卒業生の学科同窓会で構成されており、未だ工学部同窓会には至っておりませんが徐々に輪が広がりがつつあり、いつの日か全学科同窓会になればと願っています。

コロナ終息から2年、工学部同窓会再構築から10年の時を経て、今年は更なる発展の為、関係者一同力を合わせて素晴らしい活動に取り組む所存でございますので、卒業生・修了生におかれましては引き続き宮崎大学工学部同窓会の発展のためにご支援を賜ります様、宜しくお願ひ申し上げます。

今年も重点的に実施している工学部同窓会活動について説明させていただきます。

毎月開催される工学部同窓会理事会において、理事の先生方と一緒に協議しながら毎年下記の5つの重点活動を積極的に推進しています。

## (1)教育活動への支援

- 学生の学外研修の交通費等の支援 ●学生の各種活動への支援
- TOEIC受験料の支援

## (2)学生の福利厚生への支援

- 入学式の支援(貸切りバスなど) ●教員・学生懇談会の支援
- 工学部主催のレクリエーション大会への支援
- 卒業・修了祝賀会/謝恩会の開催、卒業懇談会への支援

## (3)就職活動への支援

- 学生と企業との交流会開催(みやざき企業説明会)
- 企業紹介ガイドブック等の発行・配布

## (4)卒業後の連絡網の充実や同窓会の開催および各地区同窓会の支援

- 工学部同窓会名簿の管理および工学部同窓会の開催
- 卒業生支援室(同窓会事務局)での卒業生に対するワンストップサービス
- 各地区工学部会活動への支援

## (5)宮崎県と連携した「ひなた応援団」による積極的な学生の県内就職の支援制度の活用推進

今後も、在学生の支援を中心に活気ある工学部同窓会活動を推進しますので更なるご協力・ご支援を賜りますように切にお願い申し上げます。

## 工学部学部長のごあいさつ

日本の2040年問題に向けて  
2026年から改革に取り組んでいく  
宮崎大学工学部は  
“入学後の伸びしろMax”を  
めざして学生を育む

宮崎大学工学部長 鈴木 祥広



団塊ジュニア世代が高齢者となる2040年には、①少子高齢化、②地方の過疎化が一層深刻化、③生産年齢人口の減少による働き手不足(特にAI/ロボット等の理系人材の不足)によって、我が国の社会経済構造は新たな局面を迎えます。政府は2040年問題として、この深刻な局面を打破するため、人材育成の強化によって、社会・経済の持続的な成長を実現する必要があるとし、大学にも積極的な改革を求めてきました。工学系人材は、今後、益々重要度が高まります。宮崎大学工学部も工学系人材の育成と輩出という、更に重要なミッションを担っていくこととなります。しかしながら、2026年度における受験業界の調査結果では、工学部は全国的に高校生からの人気がありません…。事実、ここ数年の受験倍率では、我が工学部も苦戦中です。私は、工学の意義や魅力、ミッションを知らないことが原因と考えています。そこで、オープンキャンパスや体験入学、高校訪問等において、高校生や高校教師、機会があれば保護者に対して、宮崎大学工学部は“入学後の伸びしろ”では、国立大学のなかでも際だっていること、さらに国立大学トップを目指していることを積極的にアピールしています。希望する企業への就職実績は極めて良好であり、学会・シンポジウム等での学生・院生の受賞・表彰件数では、地方大学の中で突出して優れています。伸びしろの広い要因は、80年に及ぶ工学部の大勢の卒業生・修了生や教職員の努力と実績の積み重ねと社会に出てからの活躍、ならびに恵まれた教育・研究環境にあると考えています。特に、工学部同窓会を中心とするネットワークが全国に構築され、支援して頂いていることは我々の工学部の強みです。少しずつではありますが、宮崎県・九州で宮崎大学工学部の注目度も上向きに転じつつあります。令和8年(2026年)度は、この流れを更に加速していきます。宮崎大学工学部に入学したら卒業・修了までに、学生の個々の“伸びしろ”を限界突破まで育てていきます。

電気、ガス、水道・下水道、電話、通信等のライフライン、道路や橋、港、街などの都市のインフラ、様々な食料の安全管理、生活必需品、電化製品、医薬品・医療機器など、我々の生活に必要な施設、製品、システムは、全て工学が担っています。したがって、工学の学問・技術無くして、人々は生きて行けません。工学は50年、100年先も発展し続けます。

宮崎大学工学部は、工学部同窓会のご支援を受けつつ、さらに飛躍します。  
工学部同窓会の皆様のご健勝とご多幸を心より祈念申し上げます。

## 各プログラムの定年退職、昇任、新任教員紹介

## 〈定年退職〉

土木環境プログラム  
教授 土手 裕



1994年6月に宮崎大学工学部に助教授として着任して、足かけ32年弱勤務した宮崎大学を2026年3月に定年退職することになりました。インターンシップ担当を務めていた際には、各地区部会で多くの同窓生の方の知己を得、多くのインターンシップに関する情報を提供いただき、学生指導に対して大いに活用させていただきました。また、担任を務めていた際には工学部同窓会から1年生の現場見学に対するご支援をいただき、1年生の土木環境に関する関心を喚起することに役立ちました。また、各地区部会では教員たちの成長した姿を目にすることはこの上もない喜びでした。退職後も工学部同窓会の活動に可能な限り協力していきたいと思っております。これまでのご支援に深く感謝申し上げますとともに、今後の工学部同窓会のご発展を心よりお祈り申し上げます。長い間ありがとうございました。

## 〈定年退職〉

機械知能プログラム  
教授 鄧 鋼



今年3月末で定年退職しました。宮崎大学には平成8年4月に着任してこれまで30年間の勤務でした。平均寿命を考えると人生1/3は宮崎大学にいたこととなります。振り返って見ると、この30年間で大学を取り巻く環境は大きく変わっていました。私が受けた教育と私を指導した先生のお仕事を思い出すと、現在の教員の仕事の範囲は遥かに広がっています。高等教育の根幹となる教育と研究以外、社会貢献、地域貢献、小学生を含む啓発教育、外部・内部評価、目的目標の作成と点検及び改善、加えて成績評価の新しい手法の導入に加えて、教育体制と管理体制も教授会主導からトップダウンとなり、激変の30年間とも言えます。このような「改革」の成敗については私が言う立場ではないですが、疑問に思うところが多くあります。在職中の教職員の皆様がこれからもさまざまな要求に適切且つ巧みに対応して、工学部の今後の存続と発展につなげますよう期待しています。

工学部同窓会には、毎年学生の就職支援、工場見学の借上げバスの資金援助、学部と大学院の改組や学科の外部評価とJABEE認定などで多大なご協力をいただき、この紙面を借りてお礼を申し上げます。

定年後1年間は非常勤講師として現在の授業を担当することとなっています。仕事は授業のみとなり、すっきりした気持ちとなります。持て余した時間を“非常勤漁師”やテニス、ジョギング、今年始まった養蜂に充てることにします。住まいは学園木花台ですので、宮崎大学の行末を暖かく見守って行きたいです。

## 各プログラムの定年退職、昇任、新任教員紹介

## 〈定年退職〉

機械知能プログラム  
教授 長瀬 慶紀 (機械工学科 S58年卒)



2026年3月をもちまして、宮崎大学を定年退職することとなりました。2000年4月に着任して以来26年間、教員として教育・研究に携わってまいりました。学部4年、修士2年、そして社会人としての博士後期課程3年の学生時代を含めると、実に35年もの長きにわたり宮崎大学にお世話になったこととなります。この間、多くの先生方から温かいご指導をいただき、また学生の皆さんと授業や研究を通して共に学べたことは、私にとって一生の宝でございます。

工学部同窓会では、理事長やホームカミングデイ実行委員長を務める機会をいただきました。大きな成果を残すことは叶いませんでしたが、皆様のご支援のおかげで、後任の方々へ無事にバトンを渡すことができました。改めて深く感謝申し上げます。

最後になりますが、工学部同窓会がますます発展し、同窓生の皆様にとって温かい交流の場として永く親しまれますことを、心より祈念いたします。

## 〈定年退職〉

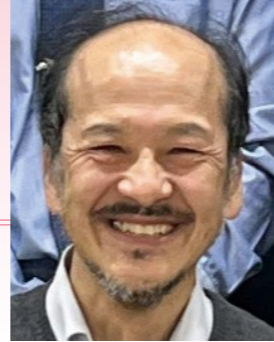
工学基礎教育センター  
教授 坂本 真人



このたび三月をもちまして、定年により宮崎大学を退職することになりました。宮崎大学には二十五年間在職し、通算では約四十年にわたり、文部科学省の教員として教育・研究に携わってまいりました。専門は計算機科学および情報処理で、数理データサイエンス・AIやXRなどを中心とした分野において、学生の皆さんと共に学び、考え、研究を進めてきた日々は、私の教員人生における大きな財産です。情報技術が急速に進展する中で、若い世代の柔軟な発想や探究心から、私自身も多くの刺激と学びを得ることができました。卒業生の皆様が社会のさまざまな分野で活躍されていることを知るたびに、教育に携われた喜びと誇りを新たにしております。四月からは非常勤として引き続き大学教育に関わる予定です。在職中はいろいろとお世話になり、誠にありがとうございました。同窓会のご発展と、宮崎大学のさらなる飛躍を心よりお祈り申し上げます。

### 〈定年退職〉

工学基礎教育センター  
教授 松田 達郎



平成5年2月に宮崎大学工学部に採用されてから33年2か月で退職となりました。平成4年に発足した物質工学科に助手として採用され、その後材料物理工学科、工学基礎教育センターを担当しました。採用された頃は、大学にインターネットもなく、ワークステーションと呼ばれるコンピューターには巨大なブラウン管のディスプレイを繋いでいました。また携帯電話も普及していませんでした。今の学生たちは想像できないでしょう。

全学広報委員を務めていた際、宮崎大学の公式ホームページの開設に立ち合いました。工学部のホームページのURLに/techが付いていますが、これは私がこそっと提案したと思います。当時は工学部の英語名もあまり公表されていなかったように思います。今なら/engというようにしたかもしれませんが、国際化も先という感じでした。

技術の進歩というのは日々ちよつとずつですが、気付くとがらっと変わっています。現在はネットで容易に情報が得られる時代になりましたが、これからの30年後に大学ははたして存在しているでしょうか？

現在宮崎大学を含む国立大学法人は財政的にも、また運営としても自由度がなくなっています。この先、宮崎大学をどうすべきか工学部同窓会の皆様にもご議論いただければと思います。

最後になりましたが、長い間お世話になりました。どこかで見かけたら気軽に声をおかけください。

### 〈昇任〉

化学生命プログラム  
教授 菅本 和寛 (工業化学科 H3年卒)



化学生命プログラム担当の菅本 和寛(すがもとかずひろ)と申します。このたび、2025年11月1日付で教授の職を拝命いたしました。私は平成3年に工業化学科を卒業した本学OBでもあります。恩師は松井隆尚名誉教授であり、私の教授昇任と同じ時期である2025年11月3日に、松井先生が瑞宝中綬章を受章されました。師のご栄誉と時期を同じくして昇任できましたことは、身に余る喜びであり、改めて身の引き締まる思いでおります。

私の専門は有機化学で、特に環境調和型有機合成反応の開発とその天然物合成への応用、さらには未利用バイオマス資源の有効利用法の開発を中心に研究を進めてまいりました。今後も教育・研究の両面において、本学の発展と、同窓会の活動に微力ながら貢献できるよう努めてまいります。また、同窓会活動にも積極的に取り組んでいきたいと考えております。引き続きご指導・ご鞭撻のほど、何とぞよろしくお願い申し上げます。

### 〈昇任〉

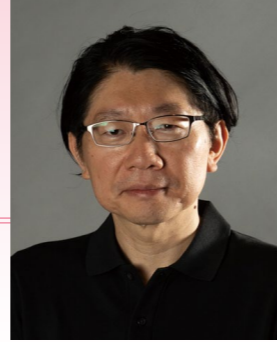
半導体サイエンスプログラム  
教授 荒井 昌和



半導体サイエンスプログラム担当の荒井 昌和と申します。2015年4月に准教授として着任し、早いもので10年経ちました。前職はNTT研究所で、光ファイバ通信用半導体レーザーや集積デバイスを結晶から作る研究をしておりました。宮崎大学に来てからは、光と半導体の技術をベースに半導体レーザーだけでなく、光電変換素子(太陽電池)や新材料トランジスタ、センシング用デバイスの研究を行っています。農学部や県の総合農業試験場と協力して、牧草のドローンでの測定やマンゴー軸腐病の早期検出、防除技術、サツマイモ基腐病の診断技術などにも取り組んでおります。企業での経験を生かしながら、他の教員や学生たちと一緒にいろいろなことに挑戦している日々です。2025年4月より教授の職を拝命致しまして、工学部同窓会と連携してこれまで以上に学生のため、地域のために頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

## 〈昇任〉

機械知能プログラム  
教授 山子 剛



このたび、2025年4月1日付をもちまして教授に昇任いたしました、機械知能プログラム担当の山子 剛(やまこごう)と申します。これもひとえに、これまでご指導・ご支援を賜りました諸先生方、学内外の共同研究者の皆様、ならびに温かく見守ってくださったOBOGの皆様のお力添えの賜物であり、心より感謝申し上げます。

本学テニュアトラック助教として在職中には、科研費の国際共同研究強化に採択されてオランダ・ラドバウド大学メディカルセンターに長期滞在する機会を得るなど、研究に集中できる環境を与えていただきました。その後、2017年10月に工学教育研究部へ准教授として昇任し、医療現場における課題、いわゆるアンメット・メディカルニーズを工学的視点から捉え、その解決を目指す医工連携研究を軸に、バイオメカニクス分野における基礎的・応用的研究に取り組んでまいりました。

宮崎の温暖な気候に恵まれた過ごしやすい環境の中で、地域医療や産業と連携しながら研究を進められることは、大きな意義があると感じております。今後も、研究成果を社会に還元するとともに、産学・国際連携を進めながら、学生一人ひとりが工学の力で社会に貢献できるよう、研究者・技術者の人材育成に一層尽力してまいりたいと考えております。引き続きご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## 〈昇任〉

情報通信プログラム  
教授 油田 健太郎 (情報システム工学科 H15年卒)



情報通信プログラム担当の油田 健太郎(あぶらだけんたろう)と申します。前職は大分工業高等専門学校で、2017年4月より母校である宮崎大学に着任し、このたび、2025年4月より教授に昇任いたしました。コンピュータネットワークおよびセキュリティに関する研究に取り組んでおります。近年は県警よりテクニカルアドバイザーを委嘱いただき、学生のサイバーボランティア活動などを通じて社会貢献にも努めております。ここまで歩んでこられたのは、工学部同窓会の皆さまをはじめ、工学部の教職員の皆さまの多大なご支援のおかげです。心より感謝申し上げます。趣味はバドミントンで、運動で心身を整えつつ、今後も体調に十分気を付けながら、教育・研究・社会貢献・運営をバランスよく進めていきたいと考えております。引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。

## 〈昇任〉

工学基礎教育センター  
教授 出原 浩史



2013年10月に工学部に准教授として着任してから、十数年が経ちました。着任当初は30代前半の若手ということもあり、右も左も分からず、諸先生方から多くのご指導をいただいたことを懐かしく思い出します。それから十数年が過ぎ、

「花の色は 移りにけりな いたづらに わが身世にふる なかめせしまに」という和歌にあるように、私自身も年月の流れを実感することが増えてきました。一方で、近年の生成AIのめざましい発展には、ただただ驚かされるばかりです。十数年先の社会や研究の世界がどのように変化していくのか、楽しみであると同時に、不安を感じることもあります。

私は工学基礎教育センターの数学担当教員ということもあり、同窓会との関わりは必ずしも多くありませんが、今後も新入生に向けて、工学の基礎となる数学教育に邁進するとともに、新たな分野を切り開く研究にも取り組んでいきたいと考えています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

## 〈昇任〉

化学生命プログラム  
准教授 稲田 飛鳥 (物質環境化学科 H24年卒)



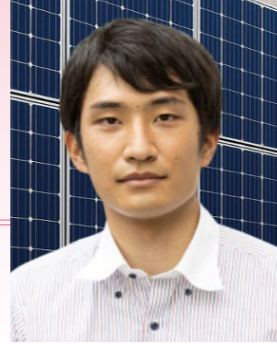
化学生命プログラムの稲田 飛鳥と申します。宮崎大学に助教として着任してから、早いもので5年が経ちました。私は今年5月に37歳を迎えます。生まれは滋賀県大津市ですが、宮崎大学に入学した学生時代から数えると18年が経過し、その間、他地域で生活した時期もありましたが、結果として滋賀と宮崎でほぼ半々の時間を過ごしてきました。今では、宮崎は私にとって第二の故郷のような存在です。何年住んでも、宮崎は非常に暮らしやすい土地だと感じています。

本年は工学部同窓会の理事長を拝命し、同窓会に関するさまざまな業務に携わる貴重な機会をいただきました。また、これまで指導してきた学生たちが、卒業生として社会に羽ばたいていく姿をようやく見届けられるようになったことも、大きな喜びの一つです。

今後も宮崎大学に集う学生一人ひとりに真摯に向き合い、教育に一層力を注ぐとともに、社会の役に立つ研究に取り組み、地域および社会への貢献を果たしていきたいと考えております。今後とも変わらぬご指導、ご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

### 〈新任教員紹介〉

半導体サイエンスプログラム  
准教授 浅見 明太



2025年4月に半導体サイエンスプログラムの准教授に着任いたしました浅見 明太と申します。2023年に東京大学で博士号を取得した後、東京大学先端科学技術研究センターにて2年間助教を務めてまいりました。宮崎大学とは以前からご縁があり、福山先生や碓先生と共同研究を行ってきました。

専門は半導体デバイスおよび太陽電池を中心としたエネルギー変換材料の研究で、次世代の高効率太陽電池や新しい光・熱エネルギー利用技術の開発に取り組んでいます。太陽電池研究が盛んな宮崎大学に着任できたことを大変嬉しく思っております。今後は、日照条件に恵まれた宮崎の特性を活かし、農業・畜産業と再生可能エネルギーの融合などにも挑戦したいと考えています。教育面では、学生一人ひとりが基礎から応用までを着実に理解し、自ら考え行動できる技術者・研究者として成長できるよう努めてまいります。地域社会や産業界とも連携しながら、工学部の教育・研究の発展に貢献していきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

### 〈新任教員紹介〉

電気電子システムプログラム  
准教授 佐藤 大輔



2025年3月1日付で電気電子工学プログラム(現:電気電子システムプログラム)の准教授に着任しました佐藤 大輔と申します。出身は岩手県で、大学～大学院博士課程までを新潟県の長岡技術科学大学で過ごし、豊田工業大学での博士研究員、博士号を取得した母校での助教・講師を経て、宮崎大学に着任となりました。人生のほとんどを雪国で過ごしてきた人間にとって、宮崎の冬季の温暖な気候はすごく新鮮で、公私ともに南国での新しい挑戦を楽しんでいます。専門分野は光学・熱工学で、現在は特にカーボンニュートラルエネルギーからの高効率電力変換に関する研究に力を入れています。宮崎は日射が豊富であり、太陽エネルギーは重要な地域資源です。太陽電池に入射する光をうまく制御して色味を出したり、透明にしたり、また、材料特性を生かして曲面形状にしたり曲げ伸ばしができるようにしたりと、新しい用途展開を目指した世界初の太陽光発電コンセプトを提案し実証しています。どうぞよろしくお願いいたします。

### 〈新任教員紹介〉

電気電子システムプログラム  
准教授 東 智弘



2025年4月より電気電子システムプログラムの准教授として着任いたしました東 智弘(ひがしともひろ)と申します。2021年11月に宮崎大学テニユアトラック推進室・半導体工学分野に着任し、研究室の立ち上げを進めてまいりました。テニユア教員評価審査を経て、このたび工学部への配属となりました。専門分野は光電気化学と触媒化学です。光を用いて水からクリーンな水素を生成する半導体材料の開発や電子移動過程の解析を通じて、再生可能エネルギーを基盤とするエネルギー変換技術の高度化を目指しています。多くの方々とのご縁とご支援により、分析装置や実験環境も少しずつ整い、宮崎に着任して4年半が経過した現在、研究室運営もようやく軌道に乗ってきたと感じています。

教育面では、学生一人ひとりが自ら課題を見つけ、考え、手を動かし、結果を根拠に議論できる力を育むことを大切にしています。研究活動を通じて、専門知識だけでなく、研究倫理、時間管理、協働の姿勢といった力も身につけられるよう指導していきたいと考えています。今後は、学内外の先生方・企業の皆様との連携をさらに深め、世界に発信できる研究成果の創出と人材育成に取り組んでまいります。引き続き、ご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

### 〈新任教員紹介〉

機械知能プログラム  
准教授 藤川 俊秀



2025年4月に機械知能プログラム(専門:流体工学)に准教授として着任しました藤川 俊秀(ふじかわとしひで)と申します。本誌からの執筆依頼につきましては、この一年を振り返る大変貴重な機会を与えて頂きましたことに、まず深い謝意を表します。大学教員としての一年は非常に有意義であり、かつ私自身が、学生や教職員の皆様から学ぶことが多かったように感じております。

大学での教育は一般教育、専門教育をとおして、学生が自らの力で専門分野を深められるようになることで大切であると考えておりますが、私個人としては、学生たちに「物事を貪欲に、深く学ぶ姿勢」を自然に身につけさせたいと考えております。この姿勢が学生たちにしっかりと身に付けば、国の将来を担う創造性に富む人材を育成できるのではないかと考えております。常に素直で謙虚な心で、正しく物事を判断でき、一步一步確実にやって行く姿勢を学生が身に付けられるように私自身も日々勤しんでまいります。

皆さまのご健勝と工学部同窓会のさらなるご発展をお祈り申し上げます。

### 〈新任教員紹介〉

半導体サイエンスプログラム  
助教 鈴木 寛大



半導体サイエンスプログラム助教の鈴木 寛大と申します。2025年4月に着任いたしました。2025年3月までは宇宙航空研究開発機構(JAXA)に所属しておりました。出身は福島県会津地方でして、もともと宮崎とはご縁がありませんでしたが、研究上のつながりをきっかけに来させていただきました。毎日25分ほど(電動)自転車を漕いで通っております。春と秋は田んぼで大量発生した虫と衝突するのがつらいところではありますが、毎日楽しく通っています。海も山もすぐそこにあり、新鮮で美味しい食材がごく普通に手に入るのが宮崎の素晴らしいところ。教育の方はというと、初めてちゃんと講義をもちまして、楽しくやらせていただいております。天文系のため研究生活で社会の役に立つ場面が少ないので...、興味深そうに講義を受ける学生などを見ると嬉しくなります。研究については天文衛星を用いた観測や半導体センサの新規開発を自由にやらせていただいております。今後とも、教育と研究とに励んでいきます。

### 〈新任教員紹介〉

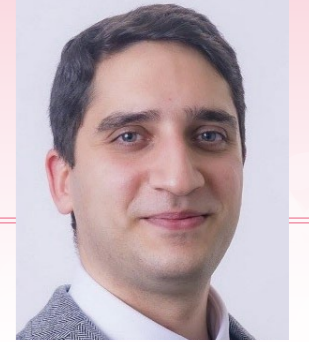
化学生命プログラム  
特別助教 山下 祐典



2025年10月に化学生命プログラムの特別助教として着任しました山下 祐典と申します。私は鹿児島で生まれ育ち、鹿児島大学にて化学工学を学び、2025年9月に博士(工学)の学位を取得しました。これまで一貫して、化学工学の視点から医療分野に貢献する研究に取り組んできました。宮崎県は幼い頃から家族とともに何度も訪れた地であり、そのようなご縁のある宮崎で教育・研究に携われることを大変嬉しく思っています。専門分野はバイオマテリアルで、天然高分子を利用した医療用ハイドロゲルの製造技術開発や、創傷治療・組織工学への応用を行っています。教育面では、知識の習得にとどまらず、学生ひとりひとりが自ら考え、主体的に学び挑戦できる環境づくりを心がけていきたいと考えています。今後は研究・教育を通じて地域や社会の発展に貢献していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。

### 〈新任教員紹介〉

情報通信プログラム  
特別助教 崇風 まあぜん(Mazen Soufi)



2025年10月に工学部情報通信工学プログラム特別助教として着任しました、崇風 まあぜんと申します。研究分野は医用画像解析です。宮崎大学工学部に着任する前は、奈良先端科学技術大学院大学で7年間助教を務め、学生の指導や研究基盤の環境管理・整備とともに、主に筋骨格系のCTやMR医療画像解析に注力してきました。

現在は、宮崎大学の工学部・医学部の先生方と連携し、AIを活用した循環器疾患の診断支援システムの開発に取り組んでいます。Radiomicsや基盤モデルのAI技術を用い、医療画像及びマルチモーダルデータを融合させた早期診断の患者個別な手法を確立することで、医師の診断補助を行い、診断の正確度を保ちつつ効率を向上させ、適切な治療へつなげることを目指しています。将来的には、個人の健康状態や生活動態、周囲の環境を統合的に捉えるデータ駆動型の知能医療システムを構築し、次世代の診断技術だけでなく、予防医療の実現にも貢献したいと考えています。

### 2025年度の主な活動

- 3月 …………… 卒業・修了祝賀会／謝恩会（シーガイアコンベンションホール）
- 4月 …………… 工学部保護者懇談会（宮崎大学330記念交流会館）  
関西工学部会新入社員歓迎会（大阪－大阪城公園）
- 6月 …………… 関東工学部会（東京－バトール東京）
- 7月 …………… 第7回宮崎大学工学部同窓会（ニューウェルシティ宮崎）
- 10月 …………… 関西工学部会（大阪－TKPガーデンシティPREMIUM）  
中部工学部会（愛知－ELLEHALLDining名古屋駅西口店）
- 11月 …………… 北部九州工学部会（福岡－ホテルクリオコート博多）  
「2026年版みやざき就勝ガイド」発行・配布
- 12月 …………… 令和7年度みやざき企業説明会（330記念交流会館）

### 教育・福利厚生・就職への支援活動

#### 「卒業・修了祝賀謝恩会」

宮崎大学卒業証書・学位記・修了証書授与式、工学部卒業・修了懇談会のあと、フェニックスシーガイアコンベンションホール4Fにて、2024年度宮崎大学工学部卒業・修了祝賀謝恩会が開催されました。

卒業生・修了生をはじめ、工学部長、同窓会長、同窓会役員、教職員等の皆さまにご参加いただき盛大に開催することができました。



### 「工学部卒業・修了懇談会」

3月24日(金)フェニックスシーガイア・コンベンションセンターサミットホールにて宮崎大学卒業証書・学位記・修了証書授与式に続いて、工学部卒業・修了懇談会が行われました。



応用物質化学プログラム



情報通信工学プログラム



機械知能工学プログラム



土木環境工学プログラム



応用物理工学プログラム



電気電子工学プログラム

### 「プログラム内ソフトボール大会」

宮崎大学木花キャンパスグラウンドにて親睦を兼ねて11月15日(金)に応用物理工学プログラム(4年生~修士)ソフトボール大会が開催されました。



### 「宮崎大学工学部基礎科学(数学)における学生表彰」



7月22日(火)に工学部の2年生、3年生を対象に数学成績優秀者の表彰式を行いました。表彰式では、鈴木工学部長から表彰状と記念品が手渡され激励の言葉が贈られました。記念品(図書カード)は工学部同窓会が支援を行いました。

### 「厚生補導経費等支援(学外技術研修の交通費・備品費等)」

各プログラムでの様々な活動費(厚生補導経費等)として、学外研修のためにかかる交通費や学修に必要となる様々な備品や施設利用料等に対して学生個人の負担を軽減することを目的として工学部同窓会として支援しています。



### 「みやざき企業説明会」

12月5日(金)宮崎大学330記念交流会館にて「みやざき企業説明会」を開催いたしました。今年には昨年の59社から66社まで拡大し、午前と午後に分けて学生・企業双方に負担なくまた多くの企業と触れ合える場を作ることができました。約200名の学生が参加し各企業の話に熱心に耳を傾けていました。



### 企業様からの同窓会への寄付寄贈について



《丸栄宮崎株式会社様・MARUEI株式会社様》

今年も以下の企業様から工学部同窓会あてに同窓会活動活性化を目的としてご寄付を頂きましたので、感謝状を贈呈させていただきました。



《ブンリ工業株式会社様》



《株式会社テクノクリエイト様》

### TOEIC試験の支援に関して

今回から2年生の必須科目である英語の授業に必要なTOEIC試験の受験費用の一部負担を工学部同窓会から行うことを決め、10月、11月、12月、1月の各試験で活用いただいています。



### 宮崎地区の行事

#### 7月19日(土)第7回宮崎大学工学部同窓会—ニューウェルシティ宮崎

7月19日(土)にニューウェルシティ宮崎において第7回工学部同窓会を開催いたしました。参加者は全体で77名と昨年に対して若干少なくなりましたが、こられた皆さんは大いに盛り上がりました。

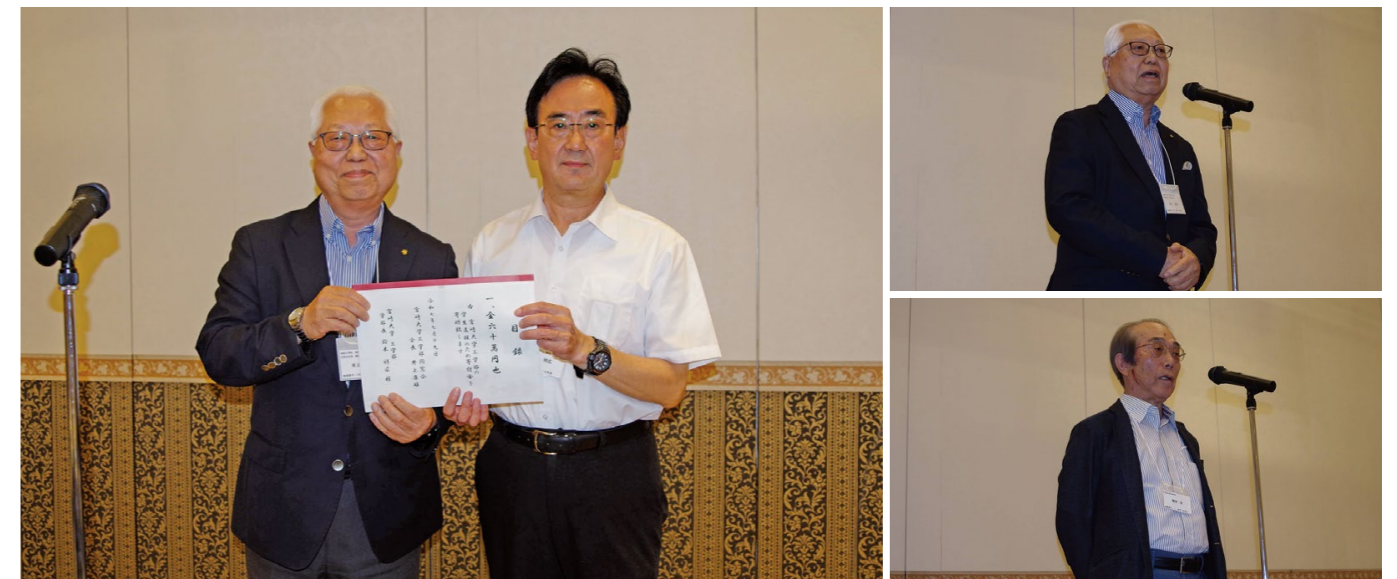
講演の部は宮崎大学工学部工学科 電気電子システムプログラム 田村 宏樹教授から「第4次産業革命と先端IT人材育成」の演題でご講演をしていただきました。



その後宮崎大学工学部 学部長 鈴木 祥広教授から「工学部の近況」と題して最近時の工学部内の状況をご説明いただきました。

続いて各学科ごとの写真撮影を終えた後、懇親会を18:00から開始いたしました。

同窓会 井上会長からの開宴のご挨拶及び工学部へ60万円を学生の支援として寄付をさせていただきます。



今回令和7年度春の叙勲において本学の横田 漢名誉教授と中澤 隆雄名誉教授が、教育研究功勞の分野で瑞宝中授章を受章されました。今回は横田先生がご参加されましたので、一言ご挨拶をいただきました。

宮崎大学副学長の淡野先生の乾杯のご発声を頂き、歓談を挟み各地区の工学部会の会長や代表幹事の方からご挨拶をいただきました。



2024年度卒業生および2025年度の代表幹事にも登壇いただき、今後の同窓会の若手参加に対し盛り上げていきたいとの頼もしい言葉をいただきました。



今回は、特別に抽選会を実施し若手も先輩卒業生も景品の焼酎やQUOカードをもらって喜んでいただけました。



最後に理事長の稲田先生の締めめの言葉を頂き終了しました。  
 今年は7月18日(土)に同じ場所のニューウェルシティ宮崎で開催しますので、是非皆さんお集まりいただき楽しく飲んで騒いで語り合しましょう!

## 「2026年版みやざき就勝ガイドとポータルサイト発行・配布」

「2026年版みやざき就勝ガイド発行・配布」

2026年版のみやざき就勝ガイドを11月にプログラムごとに配布を行いました。今回のガイドは従来に比べ、各企業のアピールポイントをより多く反映し、その情報量も今回からポータルサイトを活用することで多くの学生に公知できるよう工夫しました。



### 関東地区の行事

#### 6月14日(土)関東工学部会—バトゥール東京

6月14日(土)に関東工学部会が東京の新宿にあるバトゥール東京で開催されました。  
 参加人数は124名と大盛況となりました。13:00~各支部の総会を実施したのち写真撮影を行った後に14:00~懇親会を開始しました。その後代表幹事の機友会佐藤さんが開式挨拶で始まり最近時の工学部の近況の紹介として工学部学部長の鈴木先生から今の工学系全体の状況に加え現在の工学部の近況についてご説明があり、電電会の淡野先生の乾杯の元会食をスタートしました。途中歓談を挟み、同窓会会長の井上さんの挨拶及び関東工学部への目録贈呈が行われ、宮崎県東京事務所の大槻様、宮崎市東京事務所の橋口様と野妻様からも開催に関してのお祝いのお言葉をいただきました。  
 最後に関東工学部の幹事を紹介し、来年度代表幹事を務められる予定の電電会支部長の青柳様からの一丁締めで会をお開きとしました。



### 中部地区の行事

#### 10月18日(土)中部工学部会—名古屋市ELLE HALL Dining 名古屋駅西口店

10月18日(土)に中部工学部会が名古屋市ELLE HALL Dining 名古屋駅西口店(エルホールダイニング)にて開催されました。今回は電電会が主催での開催となりました。  
 11:30~各学科総会の後12:00~懇親会を開催しました。  
 電電会中部支部の小森会長の司会挨拶の後に同窓会会長の井上さんの挨拶が行われ、その後乾杯を行い懇親会がスタートしました。今回は総勢47名の参加となり、R6年卒の方も3名参加いただきました。  
 次回もっと若手新人メンバーが集まりやすい環境を目指していけることを期待しております。



### 関西地区の行事

#### 10月19日(日)関西工学部会-TKPガーデンシティPREMIUM大阪駅前

10月19日(日)に関西工学部会がTKPガーデンシティPREMIUM大阪駅前にて開催されました。今回は電電会が主催での開催となりました。

11:30~各学科総会の後12:30~懇親会を開催しました。電電会関西支部の敦田会長の司会挨拶の後に同窓会会長の井上さんの挨拶が行われ、その後乾杯を行い懇親会がスタートしました。今回は総勢47名の参加となり、R4年卒が2名、R5年卒が2名、R7年卒の方も2名参加いただきました。

次回もっと若手新人メンバーが集まりやすい環境を目指していかれることを期待しております。



### 北部九州地区の行事

#### 11月22日(土)北部九州工学部会-ホテルクリオコート博多

11月22日(土)に北部九州工学部会がホテルクリオコート博多にて開催されました。今回は電電会が主催での開催となりました。

11:00~各学科総会の後12:00~北部九州工学部会及び懇親会を開催しました。

北部九州工学部会の山下会長の司会挨拶の後に同窓会会長の井上さんの挨拶が行われ、その後乾杯を行い懇親会がスタートしました。今回は総勢68名の参加となり、R3年卒が1名、R4年卒が2名、R5年卒が1名、R6年卒が2名、R7年卒の方も1名参加いただきました。

次回もっと若手新人メンバーが集まりやすい環境を目指していきます。

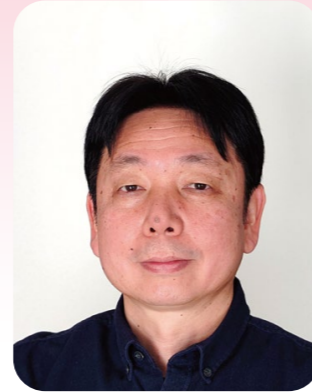


## 各地区工学部会からのメッセージ

関東工学部会 代表幹事(電電会 東京支部 支部長)

青柳 誠一

(情報工学科 H6年卒)



宮崎大学工学部同窓会の皆さま、こんにちは。情報工学科で第1期卒の青柳 誠一です。現在、縁あって電電会 東京支部長を務めております。日頃より同窓会活動へのご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

私たち関東工学部会は、複数の学科での合同懇親会をきっかけに2013年からは旧5学科(機械、土木、電気、化学、応用物理)主体で各学科幹事の協力のもと同窓会活動をおこなっております。2025年は機友会(機械工学科)の佐藤さんが主幹事に取りまとめでいただき、会場を新たに新宿のバトール東京に移して、10回目の関東地区の工学部同窓会を開催することができ、本部からも会長を始め工学部の同窓会活動にご支援いただいている先生方など120名を超える方々のご参加頂き、大いに盛り上がりました。改めて、学生時代を宮崎で過ごされてきた多くの皆様とのつながりが、この関東工学部会を支えていることを実感しています。

ここ最近、生成AIをはじめとする技術の進歩により、私たちの働く環境は大きく変化しており、設計や業務プロセスのさらなる効率化、AIエージェントでの代替・自動化、新しいサービスの創出など、工学部で学んだ知識を日々更新させながら新しい形で活かされる場面が増えています。こうした変化の時代だからこそ、世代を超えて語り合える場が大切だと感じています。一方で、技術が進化するほど「人と人が直接話すこと」の価値も高まっていると感じます。

関東地区の同窓会では、世代を超えたりアルな交流が生まれています。先輩方の経験談に耳を傾ける若手、最新技術の話題を共有する新卒・修了生、そしてそれを楽しそうに聞く先輩方。こうした自然なやり取りこそ、同窓会ならではの魅力です。2026年の同窓会に向けて、初めての方でも気軽に参加できる雰囲気づくりを心がけていますので、ぜひ一步踏み出してみてください。関東地区で活躍する同窓生との出会いは、きっと皆さんの新しい視点や刺激につながると思います。

2026年も6月開催に向けて準備を進めています。皆さまと次回の関東工学部同窓会でお会いできることを、心より楽しみにしています。



中部工学部会 会長

小森 孝一

(電気工学科 S49年卒)



工学部同窓会の皆様、いかがお過ごしでしょうか。

今年もはや一か月を過ぎ、月日の流れが早く感じるのは、当方だけでしょうか？

昨年は総会は名古屋での開催となりましたが、大学同窓会各位、大学教授各位、各地区支部長各位そして中部地区OB各位と多数の出席を賜り有難うございました。

総会の進行につきましては、なかなか難しいことばかりで失敗が多かったこと反省のいたりです。

それを踏まえて昨年11月には中部地区各学科支部長と共に集まりを持ち、良し悪しを見極め来年度以降の総会内容の見直し、修正、今後への対応につき議論し決定して行きました。

又当方は昨年関西地区総会に出席し、関西支部の会の取り纏め等につき、大いに参考になりました。

敦田会長さすがですね、有難うございました。

昨年は、7月の宮崎、10月の名古屋・関西と3つの総会を経験し、今年も関東、九州にも行ってみようと思料しています。

各総会で感じたことは、熱いOBが多い事です。老いも若きも熱く語り熱く行動する。やはり九州は違うばい。また大学の先生にしてもしかり。

私事ではありますが、昨年11月には宮大ラグビー部の先輩で教育学部出身の長友先輩が早逝され当時の瑞穂ラグビー出場組で弔い会を実施して宮崎に行きました。残念でなりません。

最後に各同窓会が先生方及び各OBにとりまして、有意義な場でありませう、中部会としても一層の努力をしてみたいです。いつまでも健康でいいお酒が飲めるよう今年も頑張っていきたいと思います。

本年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。

関西工学部会 会長

稲留 靖浩

(土木環境工学科 H5年卒)



工学部同窓会の皆様、いかがお過ごしでしょうか。2025年は新聞・テレビで連日「こめ不足」、「こめの値上がり」、「物価高」など暗いニュースしか目・耳にしないような気がします。現在は、高石早苗総理大臣のもと、衆議院の解散・選挙が控えております。「政権が代っても世の中何も変わらない」ではなく、我々ができることは率先して行動することで何かが変わることを期待して日々を過ごしております。

私たち、関西工学部においても今年10月の関西工学部会を『大阪』で開催し、来賓の方、各学科出身の仲間達と親睦会を盛大に開催することができました。また、参加者は昨年と比べると微減となりましたが、特に若い方やご家族連れの方々もご参加いただけるアットホームな形が出来つつあります。今年度も引き続き年2回の親睦会を計画しています。①4月第3土曜日12時から大阪城公園で新入社員歓迎会を、②10月第3土曜日に大阪市内で工学部総会を予定しています。開催が決まりましたら情報を展開しますので、奮ってご参加ください。

さて、2026年から関西工学部会長を私が引き継ぎ、盛り上げていく事になります。私自身、これまで工学部会の催しに参加したことがほぼなかったため、知らない方の為に簡単に自己紹介をさせていただきます。私は、1995年に宮崎大学大学院工学研究科土木工学を修了しました。建設コンサルタントに就職し、今年度で31年となります。社会人はほぼ関西(大阪)で過ごしており、これからも大阪をメインに活動をする予定です。趣味は今年から水泳教室に通い、健康・ダイエットに努めております。また、大学に入学後からの喫煙生活(約36年)も今年から禁煙生活(禁煙期間7ヶ月)も実践しております。

最後になりますが、工学部同窓会の最大の魅力は様々な分野でご活躍されている諸先輩方との繋がりができ且つ、成功体験や失敗談等を聞くことで、自身の仕事に役立てることができることです。特に若い方々のお力になれるようにこれからも活動を盛り上げて参りますので積極的にご参加いただければ幸いです。

同窓生の皆様のご健勝とご活躍を祈念しております。



北部九州工学部会 会長

湊 敬文

(土木工学科 S63年卒)



このたび、2026年度北部九州工学部会の会長を拝命いたしました、湊(ミナト)と申します。身に余る大役ではございますが、皆さまのお力添えをいただきながら、微力ではありますが同窓会の発展に尽力してまいります。

私は在学中に霧島の旧キャンパスから現在の木花キャンパスへの移転を迎えた世代の一員です。一部の学友とは卒業以来公私に渡るつながりを持ち、今でも年に数回は居酒屋に集まって馬鹿話に花を咲かせる仲間もいます。また、私の妻はもとより、兄夫婦のいずれもが宮崎大学教育学部卒で、宮大とは浅からぬ縁を勝手に感じております。

同窓会は世代や立場を越えてつながり合える、かけがえのない場です。学生時代の思い出を共有するだけでなく、互いの経験や知恵を持ち寄り、新しい価値を生み出せるコミュニティだと思います。一方で、同窓会参加者増の取組みや卒業生の所在把握と声掛けなど、組織の維持には課題があることも感じております。そういった課題を皆さまと一緒に考えながら、「参加してよかった」と感じられるような活動になるよう、より開かれた同窓会づくりを目指してまいります。

どうぞ変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



2025年度 宮崎大学工学部同窓会 役員名簿

2025年度 プログラム幹事の紹介

同窓会では、毎年各プログラムの学部卒業生の中から各プログラムの幹事を委嘱して、  
①卒業後の連絡網の充実 ②同窓会への参加 ③同期の方への参加連絡等の情報伝達を  
お願いしております。

役職	氏名	卒業年	卒業学科	所属
会長	井上 康雄	S45	機械工学科	機友会会長
副会長	日高 宗徳	S59	工業化学科	化学会会長
副会長	田村 俊彦	S53	応用物理学科	Σ会会長
副会長	出口 近士	S51	土木工学科	土木会会長
副会長	児玉 鉄雄	S59	電気工学科	電電会会長
副会長	齋藤 幸雄	S45	応用物理学科	Σ会
理事長	稲田 飛鳥	H24	物質環境化学科	化学生命プログラム
副理事長	高橋 伸弥	H6	情報工学科	情報通信プログラム
理事	福林 良典			土木環境プログラム
理事	武田 彩希			半導体サイエンスプログラム
理事	永岡 章	H21	電気電子工学科	電気電子システムプログラム
理事	友松 重樹	H7	機械工学科	機械知能プログラム
監事	野崎 清春	S41	機械工学科	機友会
監事	臼崎 翔太郎	H29	情報システム工学科	情報通信プログラム
事務局長	臼崎 雄一	S60	機械工学科	機友会
事務局員	帖佐 悦子			

プログラム	名前
応用物質化学プログラム	櫻井 はな
	富 伊歩輝
土木環境工学プログラム	緒方 正真
	中村 優汰
応用物理工学プログラム	高本 巴瑠乃
	浅間 菜那
電気電子工学プログラム	田中 崇介
	日高 幸四朗
機械知能工学プログラム	漆間 友綺
	永山 夏愁
情報通信工学プログラム	小久保 廉汰
	川原 誠

2024年度の会計報告(2024年度収支決算(一般会計の部))

■収入の部 (単位:円)

項目別	予算額	決算額	増減	適用
納付基金	10,290,000	9,460,000	-830,000	納付率の低下
イベント会費	4,760,000	5,359,090	599,090	ガイド参加企業増加
イベント委託費	0	2,440,000	2,440,000	土木キャリア研究会
寄付	300,000	320,000	20,000	4社から寄付納入
預金利子	0	5,600	5,600	
戻し入れ金	0	97,144	97,144	
資産	170,696	95,884	-74,812	QUOカード、切手等の資産
雑収入	0	0	0	
合計	15,520,696	17,777,718	2,257,022	

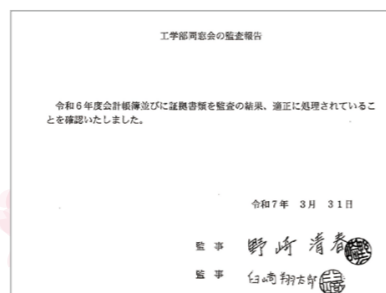
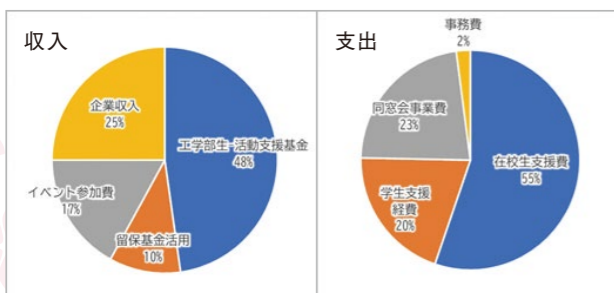
■支出の部 (単位:円)

項目別	予算額	決算額	増減	適用
1.在校生支援費	4,805,000	5,761,338	-956,338	
イ就職指導費	2,610,000	3,446,067	-836,067	
旅費	1,100,000	1,101,274	-1,274	
通信費	10,000	0	10,000	
就職等対策費	1,500,000	2,344,793	-844,793	ガイド・ポータルサイト作成費等
ロ教育活動費	2,195,000	2,315,271	-120,271	
保護者懇談会経費	500,000	351,851	148,149	保護者バス代昼食代等
厚生補導経費等補助費	1,100,000	1,328,606	-228,606	学外研修の実施
教員・学生懇談会費	300,000	241,641	58,359	オリエンテーション弁当代等
卒業懇談会費	120,000	132,000	-12,000	懇談会会議室代
工学部イベント補助費	160,000	233,227	-73,227	ソフトボール大会備品等
その他	15,000	27,946	-12,946	
2.学生支援経費	1,600,000	3,974,310	-2,374,310	
宮崎大学基金	1,000,000	1,000,000	0	宮崎大学へ支援
宮崎大学工学部基金	600,000	600,000	0	工学部単独支援
プログラム活動費	0	2,374,310	-2,374,310	土木キャリア研究会へ支払い
3.同窓会事業費	9,002,094	9,659,549	-657,455	
HP・WEB名簿管理費	250,000	157,140	92,860	HP等の管理費
同窓会関連旅費	1,300,000	1,266,045	33,955	関東・関西・中部・北部九州移動費等
卒業・修了祝賀会	2,100,000	2,133,133	-33,133	祝賀会費
第5回同窓会実施経費	450,000	888,878	-438,878	予算上は会費差し引きで計上
広報誌	235,000	247,500	-12,500	同窓会だより
諸経費	3,867,094	4,186,853	-319,759	給与、室料、電気代、役員交通費等
同窓会支援費	800,000	780,000	20,000	地区工学部会への支援費
4.事務費	380,000	410,327	-30,327	
会議費	130,000	96,000	34,000	役員会等の開催費
通信費	50,000	76,054	-26,054	基金督促郵送費
消耗品費	100,000	100,167	-167	事務室維持管理費
雑費	100,000	138,106	-38,106	銀行振込手数料等
合計	15,787,094	19,805,524	-4,018,430	

収入決算額-支出決算額=17,777,718-19,805,524=-2,027,806円

※基金納付率の低下および就職支援費の一過性での増加により繰越金からの補填が増加した。

2025年は、【前年度繰越金】37,193,226円 【当期収支決算額】-2,027,806円 【来期持ち越し額】35,165,420円



学生から預かっている基金に加え、これまでの基金を有効活用し、また、様々な県内企業との共同イベントを開催し、同窓会活動および在籍生活動を積極的に支援実施してきました。

2025年度予算

■収入の部 (単位:円)

項目別	2024年度予算額	2025年度予算額	増減	適用
納付基金	10,290,000	10,000,000	-290,000	納付率の低下
イベント会費	4,760,000	4,895,000	135,000	ガイド参加企業増加
イベント委託費	0	0	0	土木キャリア研究会
寄付	300,000	300,000	0	4社から寄付納入
預金利子	0	0	0	
戻し入れ金	0	0	0	
資産	170,696	75,884	-94,812	QUOカード、切手等の資産
雑収入	0	0	0	
剰余金取り崩し額	266,398	2,630,516	2,364,118	
合計	15,787,094	17,901,400	2,114,306	

■支出の部 (単位:円)

項目別	2024年度予算額	2025年度予算額	増減	適用
1.在校生支援費	4,805,000	6,207,000	1,402,000	
イ就職指導費	2,610,000	2,910,000	300,000	
旅費	1,100,000	1,100,000	0	
通信費	10,000	10,000	0	
就職等対策費	1,500,000	1,800,000	300,000	ガイド・ポータルサイト部数増加
ロ教育活動費	2,195,000	3,297,000	1,102,000	
保護者懇談会経費	500,000	400,000	-100,000	保護者バス代昼食代等
厚生補導経費等補助費	1,100,000	2,210,000	1,110,000	TOEIC支援を追加
教員・学生懇談会費	300,000	300,000	0	オリエンテーション弁当代等
卒業懇談会費	120,000	132,000	12,000	懇談会会議室代
工学部イベント補助費	160,000	240,000	80,000	ソフトボール大会備品等
その他	15,000	15,000	0	
2.学生支援経費	1,600,000	1,600,000	0	
宮崎大学基金	1,000,000	1,000,000	0	宮崎大学へ支援
宮崎大学工学部基金	600,000	600,000	0	工学部単独支援
3.同窓会事業費	9,002,094	9,694,400	692,306	
HP・WEB名簿管理費	250,000	250,000	0	HP等の管理費
同窓会関連旅費	1,300,000	1,300,000	0	関東・関西・中部・北部九州移動費等
卒業・修了祝賀会	2,100,000	2,200,000	100,000	祝賀会費
第5回同窓会実施経費	450,000	900,000	450,000	実施経費として予算化
広報誌	235,000	250,000	15,000	同窓会だより
諸経費	3,867,094	4,274,400	407,306	給与、室料、電気代、役員交通費等
同窓会支援費	800,000	520,000	-280,000	地区工学部会への支援費
4.事務費	380,000	400,000	20,000	
会議費	130,000	100,000	-30,000	役員会等の開催費
通信費	50,000	80,000	30,000	基金督促郵送費
消耗品費	100,000	100,000	0	事務室維持管理費
雑費	100,000	120,000	20,000	銀行振込手数料等
合計	15,787,094	17,901,400	2,114,306	

2026年度の主な活動予定

- 3月 …… 卒業・修了祝賀謝恩会(シーガイアコンベンションホール)
- 4月 …… 工学部保護者懇談会(宮崎大学330記念交流会館)、関西工学部会新入社員歓迎会(大阪-大阪城公園)
- 6月 …… 関東工学部会(東京-パトール東京)、令和8年度県内企業インターンシップ説明会(宮崎大学330記念交流会館)
- 7月 …… 第8回宮崎大学工学部同窓会(ニューウェルシティ宮崎)
- 10月 …… 関西工学部会(大阪-未定)、中部工学部会(愛知-未定)
- 11月 …… 北部九州工学部会(福岡-未定)
- 12月 …… 「2027年版みやざき就勝ガイド」発行・配布、令和8年度みやざき企業説明会(宮崎大学330記念交流会館)

※上記はあくまでも予定であり、不測の事態により中止になる場合もありますので工学部同窓会及び各地区同窓会の情報をご確認ください。